

「先端計測分析技術・機器開発事業」 評価の視点（論点・考慮すべき事項）について（案）

1．人材の発掘について

本事業については、企業や実績等だけで選定するのではなく、リスクと情熱をもって、全く新しいものを作ろうという人を選定することが不可欠である。

したがって、これらの有望なアイデアや技術、熱意のある人をどのようにして見つけるかを十分に検討する必要があるのではないか。

2．案件の絞りこみについて

領域特定型は、専門家の検討を経て選定されたものではあるが、その枠内に直接には含まれない独創的なアイデアも提案されよう。また、先端的なものを最初の採択の時点で絞り込むのは非常に困難でもある。

したがって、第1段階の公募では、採択数をできるだけ増やし、進捗状況を踏まえて、毎年絞り込むことにより、より良い案件に重点化していくべきではないか。

3．支援の拡張について

計測評価・性能向上に必須の要素部材やその表面処理手法の開発、試薬、標準物質、精密加工等は地味なサポート技術であり、なかなか実業化に結びつかない分野である。

したがって、ハイレベルの技術を持つ中小企業等に対して、申請段階や開発過程でのサポート、本事業による支援後のサポートを国として行うべきかどうか、行うべきとすればどのようなサポートが必要かを検討するべきではないか。